

2月23日

テーマ：地上では旅人

聖書箇所：ヘブル人への手紙11章13節

◆今日のみことば

これらの人々はみな、信仰の人々として死にました。約束のものを手に入れることはありませんでしたが、はるかにそれを見て喜び迎え、地上では旅人であり寄留者であることを告白していたのです。

ヘブル人への手紙11章13節

◆メッセージ



夏のキャンプは、とっても楽しかったな！テントを張って、お友だちと一緒に泊りして、バーベキューをしたり、川でお魚をとったりして…。でも、キャンプが終わると自分のおうちに帰りますね。テントは、本当のおうちではありません。本当のおうちが一番安心です。

創世記に出てくるアブラハムさんたちのおうちは、天幕(テント)でした。私たちのキャンプとちがい、今日も明日もずーっとテントの生活でした。だから楽しいことばかりではありませんでした。テントをたたんで、移動するときはたくさん歩いて、足が棒のようになって、痛くて泣きたいようなこともありました。大雨がふって大変なときもありました。だけど頑張ることができました。アブラハムさんたちは、神さまの用意してくださっている、もっとすばらしい天国のおうちがあることを信じていたからです。だから、つらいことや苦しいことがあっても、喜んで、希望をもって進むことができたのです。

私たちはどうでしょうか。イエスさまを信じている人たちが帰るおうちは、どこにあると思いますか？「はいっ、天国です！」「正解です！」イエスさまが用意してくださっているおうちが天国にあります。そこが私たちのゴールです。私も僕も、だれでもイエスさまを救い主と信じている人は入ることができます。これは夢ではなく、神さまの約束ですからその通りになるのです。安心して、ずっと住むことができます。聖書に名前が出てくる多くの人たちは、神さま

の約束を疑わないで信じていました。私も僕も、神さまの約束を疑わないで信じて歩いていきましょう。



◆お祈り

「私たちもアブラハムさんたちのように、神さまの約束を信じて、天国のおうちをみざして歩いて行くことができますように。アーメン」

(支援教師 越川壽允)